

C 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

道具を使った水上移動の記録はかなり古くから存在しており、例えばアッシリアの壁画には人が革袋を用いて水上を渡る様子が描かれている。南米チチカカ湖の葦船などのように、初期の形態の船が現代でも使われている例もある。¹⁾

船と水運は、ヨーロッパの歴史においても重要な意味を持っている。古くはクレタ文明²⁾が、地中海における海上交易を基盤に栄えた。その後、東地中海方面ではフェニキア人³⁾の活発な海上交易活動がみられた。やがてギリシアではアテネの勢力が拡大するが、アケメネス朝ペルシアとの戦争においては、ギリシアの陸軍だけでなく海軍も大いに活躍し、紀元前480年のサラミスの海戦では（イ）の率いるギリシア連合軍の艦隊が大勝利をおさめた。ペルシア戦争の後、エーゲ海周辺のポリス間の〈あ〉同盟の盟主となったアテネは、地中海交易においても支配力を強めた。

中世になると地中海では、ムスリム商人や、北方から通商圏を拡大してきたノルマン人の活動が活発化した。その一方で、ジェノヴァ、ピサ、〈い〉などのイタリアの港市が、早い時期からビザンツやムスリム商人との交易で栄えており、11世紀以降の十字軍の遠征はそのさらなる発展の好機となった。教皇〈う〉の提唱による第4回十字軍では、資金を提供した〈い〉商人が、コンスタンティノープルの占領を要請するなどして、商業圏の拡大をもくろんだ。

その後大航海時代の幕開けとともに、ヨーロッパの海洋交易の中心は大西洋に移行し、地中海交易の地位は徐々に低下していくことになる。1488年に〈え〉がアフリカ南端の喜望峰に到達したのを皮切りに、ポルトガルはインド航路開拓の先駆者となった。西廻りでインドを目指したコロンブスを支援したのはスペインの女王〈お〉であった。1500年にブラジルに漂着した（ロ）はポルトガル人であり、同国はブラジルを領有した。ただし中南米の大部分の地域はスペインによって征服された。

（ハ）を盟主とする北ドイツのハンザ同盟に加入していたフランドルのアントウェルペン⁵⁾は、胡椒や新大陸の銀が流入するようになると、ヨーロッパの大西洋への通商玄関口の1つとして繁栄した。しかし、オランダ独立戦争の影響で衰退し、17世紀にはアムステルダム⁶⁾がヨーロッパ経済の中心地となった。

17世紀のヨーロッパ諸国は、国内産業の育成を重視し、自国製品を売る国外市場を求めて植民地と海上覇権をめぐる争いを繰り広げるようになる。イギリスがピューリタン革命後の1651年に、航海法⁷⁾を制定してオランダの中継貿易を阻害したため、両国間に戦争が起こった。イギリスはこれに勝利し、海上覇権を確立した。

一方、1664年に東インド会社を再建したフランスがインドを拠点とする植民地争いに参入してきた。フランスは1674年、イギリスの拠点マドラスの南方に位置するく ⁸⁾か >に商館を建て、同地をシャンデルナゴルとならぶ通商拠点として、イギリスに対抗した。しかし18世紀後半には、イギリスがフランスおよびベンガル王侯連合軍との戦いに勝利し、フランスはインドから撤退した。イギリスはその後もインド各地の制圧を進め、19世紀にはインド支配を確立した。⁹⁾

イギリスが植民地経営の拠点をインドに置いたことにより、海上交通の重要性はますます高まった。船の動力の技術も進歩し、1807年にアメリカ人（ニ）が初めて建造した蒸気船の登場は、イギリスをはじめ世界の交通・運輸に大きな変化をもたらした。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- (イ) a. クレイステネス b. テミストクレス
c. ペイストラトス d. ペリクレス
- (ロ) a. アメリゴ＝ヴェスプッチ b. カブラル c. カボット d. バルボア
- (ハ) a. ケルン b. ハンブルク c. プレーメン d. リューベック
- (ニ) a. スティーヴンソン b. トレヴィシック
c. ニューコメン d. フルトン

B. 文中の空所<あ>～<か>それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部1)～9)にそれぞれ対応する次の問1～9に答えよ。

1. 南米に展開した文明のうち、インカ文明は広大な帝国を築いて栄えていたが、新大陸に渡ったスペイン人の征服隊によって16世紀に滅ぼされた。この征服隊を率いていた人物の名をしるせ。
2. 壮大な宮殿で知られるクレタ文明の中心地を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. クノッソス b. ティリンズ c. ピュロス d. ミレトス
3. フェニキア人により栄えた海港都市ではないものを、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. ウガリト b. カデシュ c. シドン d. ティルス

4. ムスリム商人のなかでも、特にアイユーブ朝やマムルーク朝の時代にインド洋と地中海を結ぶ交易活動を行っていた商人は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
5. 新大陸からの銀の大量流入はヨーロッパ社会にどのような影響を与えたか。「貨幣」と「領主」という語を用いて、1行でしるせ。
6. オランダの独立は、30年戦争後のウェストファリア条約で国際的に正式に承認された。この条約でとり決められた内容として正しくないものを、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. オーストリアのナポリ領有
 - b. スウェーデンの西ポンメルン領有
 - c. ドイツ諸侯の主権の承認
 - d. ドイツにおけるカルヴァン派の承認
7. 航海法が廃止された年を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 1828 b. 1832 c. 1849 d. 1860
8. フランスは17世紀末にハイチを領有したが、18世紀末には後のハイチ独立のきっかけとなる黒人奴隷反乱が起こった。この反乱を指導してナポレオン軍に捕えられ、ハイチ独立の前年に獄死した人物の名をしるせ。
9. インド制圧のために行われた一連の戦争で、18世紀中に4次にわたって行われたのはどれか、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. グルカ戦争 b. シク戦争 c. マイソール戦争 d. マラーター戦争

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にするせ。

中国の歴史では漢族以外の人々も大きな役割を果たしてきた。モンゴル高原では秦、漢と対立した匈奴に代り、2世紀以降、鮮卑が勢力を伸ばした。その一部族である拓跋が建てた北魏の太武帝が華北を統一し、五胡十六国時代を終結させた。北魏は漢化政策を進め、胡漢融合を¹⁾図った。

唐末、モンゴル高原ではウイグルがキルギスに追われ、その後、契丹が勢力を伸ばした。916年耶律阿保機は契丹諸部族を統合して遼を建て、皇帝と称した。遼は遊牧民の民政を司る北面官と²⁾農耕民の民政にあたる南面官を置き、二重統治体制をとった。

遼の支配下にあった東北地方で建国した金は、女真(女直)の王朝で、初代皇帝(太祖)の(イ)は北宋と結んで遼を滅ぼした後、その北宋も滅ぼした。(イ)は金建国の前年、女真を統制するため軍事・行政組織として部族制による(ロ)制を整備し、華北進出後は遼と同じく二重統治体制を採用した。金では1127年から科挙を採用して漢族を中央・地方行政において活用した。また、南宋と和約を結んだ後、1153年に(ハ)に遷都した。

もともとはモンゴル高原の東端に居住していたと考えられるモンゴルは、全部族を統一したチンギス=ハンが西夏、ホラズムを討つことによって西方・南方に版図を拡大する。第2代皇帝オゴタイ=ハンもこの方針を継承し、1234年に金を滅ぼした。第4代皇帝モンケ=ハンが亡くなり、即位したフビライは、対抗して即位した弟の(ニ)との争いに勝って大都に遷都し、国号を元と改め、南宋を滅ぼして中国全域を支配下に置いた。元は最高行政機関として中書省、軍政を司る枢密院など諸機関を置いたが、科挙によって登用する官僚より実務官僚を重用し、歳入は塩の専売や商業・流通への課税に依存した。元の時代には大運河の補修や新運河を建設するなど陸と海のネットワークが緊密になり、ユーラシアの東西文化の交流が進んだ。元は後継者争いによる内紛、自然災害、財政破綻などで衰退し、⁹⁾農民反乱・明の建国を受け、モンゴル高原に退いた。

明が衰退に向かうと、東北地方では明に服属していた建州女真の首長ヌルハチが女真を統一して1616年後金を建て、軍事組織の八旗を編成した。第2代皇帝ホンタイジはモンゴル、漢族にも八旗を適用し、内モンゴルのチャハル、朝鮮王朝を服属させ、1636年に国号を清とあらためた。第3代順治帝は、¹⁰⁾明の降将の要請を受けて農民反乱を鎮圧後そのまま中国支配を始め、北京に遷都し、¹¹⁾軍事組織八旗を補う(ホ)という漢族による常備軍を設置した。漢族に対しては辮髪¹²⁾の強制などの威圧策と懐柔策を併用し、直轄地以外の地は藩部として自治を認め、管轄機関として(ヘ)を置き、公文書には¹³⁾5言語を併用し¹⁴⁾

た。清は自民族固有の文化を重視する一方で、漢族国家の制度・文化を導入する姿勢を示し、広大な版図に多くの民族を抱える多民族国家を形成した。

A. 文中の空所(イ)～(ヘ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14)に答えよ。

1. この皇帝に関する記述として正しいものを、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 雲崗石窟の造営に着手した
 - b. 科挙の仕組みを作った
 - c. 道教を国教とした
 - d. 都を平城から洛陽に移した
2. 唐末、安史の乱の鎮圧に貢献して勢力を伸ばしたウイグル人の間で、当時国教となるほど盛んであった宗教を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. イスラーム教 b. キリスト教 c. 道教 d. マニ教
3. 耶律阿保機に関する記述として正しいものを、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 後晋の建国に協力し、燕雲十六州の地を得た
 - b. 国号を契丹から遼にあらためた
 - c. 北宋と澶淵の盟を結び、毎年金品を北宋から贈られることになった
 - d. 渤海を滅ぼし、東北地方にも版図を広げた
4. 遼が採用した地方行政区画制度の名をしるせ。
5. 西夏に関する記述として正しくないものを、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. カラ=ハン朝を倒して王朝を建てた
 - b. チベット系タングート族の王朝である
 - c. 仏教が盛んで多くの仏典の翻訳がなされた
 - d. 都を興慶府に置いた

6. モンケ＝ハンに、フランス王ルイ9世の使者としてカラコルムで面会したフランチェスコ派修道士の名を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ウィリアム＝ルブルック
 - b. ジョヴァンニ＝デ＝マリニョーリ
 - c. プラノ＝カルピニ
 - d. モンテ＝コルヴィノ
7. 元は建国当初、モンゴル族の伝統的な制度により官僚を登用し、科挙を採用しなかったが、後に科挙を採用した。元が科挙を採用したのはいつか、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 1281
 - b. 1301
 - c. 1313
 - d. 1341
8. 元が用いた紙幣を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 会子
 - b. 交子
 - c. 交鈔
 - d. 牌子
9. 中国絵画の影響をも受け、イランで発達したイスラーム絵画を何と呼ぶか。その名をしるせ。
10. 朝鮮王朝の初代の王に関する記述として正しくないものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 科田法を実施した
 - b. 訓民正音を制定した
 - c. 朱子学を官学とした
 - d. 都を漢陽に置いた
11. 彼らは藩王の地位を与えられた。藩王が配置されなかった地域はどれか、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 雲南
 - b. 広東
 - c. 四川
 - d. 福建
12. 清朝が漢族に対する懐柔策として用いた官吏任用制度の名をしるせ。
13. 藩部ではない地域を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 新疆
 - b. 青海
 - c. 台湾
 - d. モンゴル
14. この5言語の内、4つは満州語・漢語・モンゴル語・トルコ語である。残る1つの名をしるせ。

【以下余白】

